

# 令和7年度 志井幼稚園 自己評価結果の総括表

## 1. 本園の目指す子ども像

○元気に挨拶ができる子ども ○思いやり、やさしさのある子ども ○人の話を聞き考えて行動できる子ども ○強くてたくましい子ども ○豊かな表現ができる子ども

重点目標	評価項目	評価指標及び評価結果						コメント 評価結果に関する説明・意見書	
		基準	取組指標	取組結果	基準	成果指標	成果結果		総括評価
積極的に園外研修に参加し学びを広げる	園外研修への参加と成果の活用	4	保育の中で実践したことを、園内研修で報告する。	2.8	4	保育について互いに報告し合ったり話し合ったり、保育に活かそうとする姿が見られるようになった。	2.4	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自身の保育を振り返る機会となり「やってみよう」という意欲が増した。サークルタイムの実践はとてもよかった。</li> <li>・学んだ知識や制作等は保育に活かし、できるだけ理想の保育に近づけるよう常に意識して取り入れていきたい。</li> <li>・わらべ歌などすぐ実践できる内容のものは保育に活かし、それを基に遊びを発展させていくようにしている。</li> <li>・保育に活かすための園内研修の大切さを改めて感じた。</li> </ul>
		3	研修で学んだことを、保育の中で実際にやってみる。		3	提案されたことを、自分もやってみようになった。			
		2	研修で学んだことを記録で報告する。		2	園外研修の報告を、興味をもって聞くようになった。			
		1	園外の研修会に積極的に参加する機会を設ける。		1	園外研修に参加するようになった。			
安全に対する意識向上を図る	安全点検や職員の安全対応力高める	4	定期的に遊具や施設内の安全点検を行い、劣化による事故の防止策をとる。	3.1	4	安全点検が身につき、子どものケガが減った。	2.3	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・火災訓練についてはしっかり身につけてきているが、地震訓練等の回数を増やす必要があるように感じる。</li> <li>・不審者訓練の取り組み方を工夫したい。</li> <li>・訓練や安全について細かく声掛けをして習慣づけていくように心がけている。</li> <li>・子ども達も安全意識が高まり、その場面に遭遇するとすぐに知らせるようになった。</li> <li>・保育者間で連携をとり、子ども達を見守ったり危険な所に保育者を配置したりして安全に努めている。</li> </ul>
		3	危険橋を見つけた際は、直ちに報告し職員間で周知し防止策をとる。		3	子どもが遊びの約束ごとを積極的に守るようになった。			
		2	こどもと過ごす中で危険箇所はないか確認し、安全意識を高める。		2	子どもの安全意識が高まり、危険な場面に遭遇した時は保育者に知らせるようになった。			
		1	定期的に避難訓練や不審者訓練を行い、緊急時に適切な行動がとれるようにする。		1	訓練の大切さがわかり、避難誘導の放送を聞き落ち着いて安全な場所に避難できるようになった。			
	子どもの安全対応を高める	4	バスの中での安全な過ごし方やマナーなどについて繰り返し指導する	2.9	4	バスの座席から立ち上がる子どもが減り、大声で話をする子どもも減った。	2.4	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年齢が低くなるほど、繰り返しの声掛けが必要であると感じた。</li> <li>・遊びに入る際、事前に約束ごとを確認することで大きなケガが減ったように思う。</li> <li>・交通安全指導は、実際に横断歩道を渡る経験をさせ周囲の安全や渡り方などを丁寧に知らせ確認していった。又、どのようにすることが安全に繋がるのかを一緒に考えていく時間をもち、話し合うようにした。</li> </ul>
		3	遊び方の約束や時間を守り、安全で正しい過ごし方を身につける。		3	自由時間の遊び方の約束を積極的に守るようになりケガが減った。			
		2	避難訓練・交通安全指導を行い、安全に対する意識を高める。		2	素早く避難することの大切さや横断歩道の渡り方などの交通ルールが身についた。			
		1	近隣を含め事故やケガに結び付く可能性がある情報等は全職員で共有する。		1	子ども達に安全な遊び方や約束などが身につき、ケガや大きな事故が減った。			

☆取り組みと成果に関する評価結果 A とても良い B まあまあ良い C 普通 D 良くない (再検討)

○ 総合的な評価結果

評 価	理 由
B	<p>* 志井幼稚園の目指すもの 『幼稚園は環境を通して思う存分遊び、豊かな実際の経験を繰り返しながら、「生きる力」の基礎を育むところです』 *</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今回の志井幼稚園の自己評価において、教師の目指すべき子ども像はほぼ達成できている。</li> <li>・ 重点目標の1点目に挙げた「園外研修への参加と成果の活用」については昨年度同様、保育者の事務作業や保育教材・行事に向けての準備等で思うように参加できていないところもある。次年度は、行事の見直しを行いつつできるだけ研修に参加しやすい環境を整えていくようにしたい。</li> <li>・ 二点目に挙げた「安全に対する意識向上を図る」については、職員全体で危険個所を周知し合うこと、子ども達へ声をかけたり知らせたりすることを繰り返し行うことで保育者、子ども達の安全に対する意識が以前より深まったように感じる。</li> </ul>

○ 今後、取り組む課題

	課 題	具体的な取り組み方法
1	保育内容の向上を図るための働き方改革	年間行事のあり方や保育内容を再検討する。
2	保護者との連携	日々の電話連絡や行事、面談を通して保護者との連携を密にする。

○ 学校関係者の評価

- ・ 園外研修への参加と成果の活用について、日々の業務や行事準備等で大変難しいことと思います。志徳幼稚園や近隣の幼稚園と連携して、行事内容や準備物の必要時間削減に取り組む等、先生方自身の職場での隙間時間が増えれば、自然と園外研修への参加、研修内容の活用ができると思います。日々の保育に簡単に取り入れられる部分については積極的に取り入れていただけていると感じます。
- ・ 子ども達が安心した表情でのびのびと過ごし、友達や先生と関わりながら成長している様子が伝わってきました。日々の保育の中で、1人ひとりの思いや気持ちを大切にしながら育ちを支えていることが感じられます。市民センターも地域の一員として園や地域の皆さんに寄り添い、共に子ども達の健やかな成長に繋がっていくことを願っています。
- ・ 今年度は、年長さんと小学校2年生児童との交流活動を実施することができ、幼稚園と小学校との連携を深めることができました。今後も継続して取り組んでいけると良いと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。
- ・ 災害や災害発生時には、職員の方だけで対応するのが難しい場面があるかもしれません。すでに実施されているかもしれませんが、地域との合同練習なども検討されてはでしょうか。何かあればご相談いただければと思います。
- ・ 安全意識の向上については、職員全員のコミュニケーションがしっかりしており、声を出して、その場その場での臨機応変な対応ができていると感じます。又、職員全員で決めた安全ルールは徹底して実施されており、引き続き安全のための円滑なコミュニケーションをよろしくお願いいたします。
- ・ 近隣の園や保護者との連携をより強化し、職員の皆様の時間活用の見直しをお願いします。